

# ふれんどしっふ

1996年7月4日 発行

郡上八幡国際友好協会

総務部

## 英陽郡を訪問して

郡上郡国際友好協会

副会長 大西 淳一郎

昨年十一月、自治体交流セミナーを通じて交流があった英陽(ヨンヤン)郡より(ふれんどしっふ第五号既報)先々月、当友好協会のメンバー二人に対して招待があり、五月二十六日(三十日)の日程で韓国、ソウル、英陽を訪問しました。初めて訪問した異国の地の感想などがうかがってみました。

私たちは、五月二十六日に名古屋空港を九時三十分発の大韓航空にて、韓国へ出発しました。金浦国際空港は十一時五分に到着、宿泊地であるソウル、ロイヤルホテルへタクシーで向いました。この季節のソウルはスモッグが多く

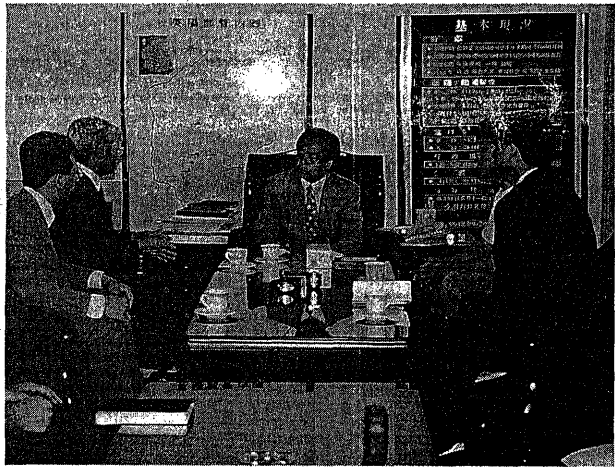
て遠景はあまり良い状態ではありません。韓国最高の六十三階建の大韓生命ビルや、国会議事堂も霞んで見えました。ホテルに着いてまもなく今春岐阜大学を卒業した、崔(チエ)君、同じく岐阜大学大学院を卒業した工学博士になられた黄(ファン)君に三ヶ月ぶりに再会、又、昨年まで八幡町で英語指導助手(AET)として活躍されたケイさんの伯父さんの李鐘律さんにも二年振りに再会しました。

翌二十七日は朝から南大門市場やソウル駅を見学、ソウル空港四時発の国内線で醴泉(イェチェン)へ向いました。醴泉の空港には昨年十一月、自治体交流セミナーでお会いした八幡町も訪問された裴(ペ)副郡守、金

### 英陽郡外

の空港には昨年十一月、自治体交流セミナーでお会いした八幡町も訪問された裴(ペ)副郡守、金

よき方向に行きますように願っています」と言われました。英陽郡唯一の国宝である五重石塔(約一五〇〇年前に建立)を見学後、町内のレストランで郡守さん主催の昼食会に招かれました。英陽の町並みは白鳥町に似ており、郡上のような山に囲まれて山裾の斜面に畑があり、主産物である唐辛子とタバコがビニール栽培されていていました。この二品目で英陽全体農業所得の五十八%を占めています。特に唐辛子は韓国一の高品質と言われており、私たちも英陽にある唐辛子の関連施設の中で、昨年完成した唐辛子を粉にする六つの農協でつくった工場、民間の唐辛子味噌製造工場、現在建設中の道宮トウガラシ試験場等の施設も見学して参りました。英陽郡もご多分にもれず若者達が都会へ流出して過疎問題に悩んでおられるよ



英陽郡庁で郡守と面談(写真中央が権郡守)

うでした。英陽から一時間程の所にある白岩(ペガン)温泉にご案内していただきました。この

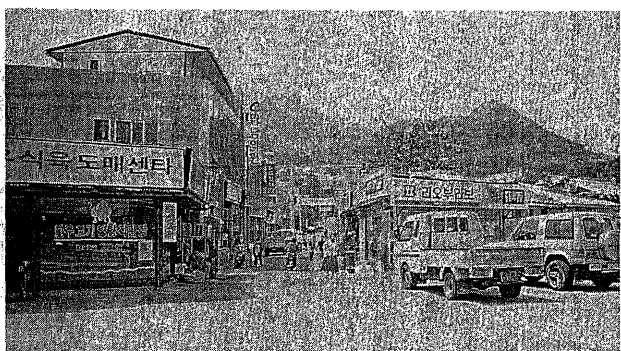
温泉は韓国で一番有名な温泉で、コンドミニウム、ホテルなどたくさんあり、一大リゾート地で、とてもきれいで、下呂のお湯と感じが同じでした。英陽郡のお隣の安東(アンドン)市は人工十万人ほどですが、大学が三校あり教育にはかなり力を入れていると思います。郊外には日本の松下村塾のようなエリートを育てた陶山書院、安東民俗博物館、安東民俗村などがあり、いづれも数百年の年月を余り人為的な手を加えることなく、そのままに保存しているのには感心しました。この度の旅行で感謝したい事は、先方のご招待と言え、四日間の滞在中全行程を裴副郡守、金係長のお二人がご案内下さった事です。また目的地に着くと必ず面長さん(村長)、郡議会議員さん、警察署の幹部のかた、農協の幹部のかた、そのほか日本語の話せるかたたちが待っていてご案内

## ロシアの国から

## コンニチワ

先月二十六・二十七日の二日間、ロシアの中学生等十八名は八幡町を訪れ、八幡の中学生たちと交流しました。彼ら一行は、ロシアのシレネホフ市の中学生たちで、石川県にある根上町と交流があり今年も、同町に六月十九日(七月三日)までの日程で訪問していただきました。また当協会の坂本会長が以前に同町で講演した縁もあり、今回の八幡町での交流

となりました。一行は、二十六日午後バスで八幡に到着後、町役場を表敬訪問、宿泊場所となったサイクリングターミナルで歓迎会が催されました。翌日は、八幡中学校を訪問し、生徒と交流、一緒に学校給食を食べました。大変忙しい二日間の滞在でしたが、彼らにとっては意義のある楽しい一時だったと思います。



英陽の町中

内下さいました。滞在中お世話下さった、礼儀の国韓国の素朴で親切な英陽の方々から感謝し、もう一度英陽を訪れたいと思いつつながら醴泉の空港を後にしま

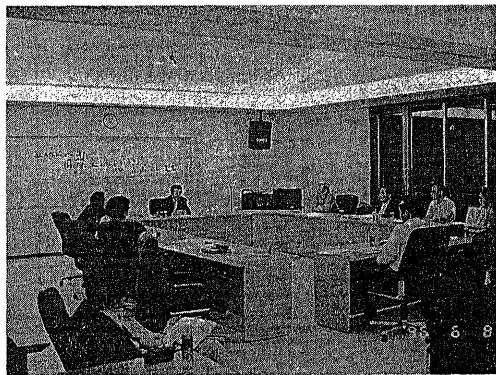
# 事業部主催

## 第二回・三回学習会を開催

去る六月八日(土)と二十二日(土)、国際交流に関する学習会を開催しました。六月八日(開場 八幡町役場)は、前岐阜大学国際交流事務室長の森山章先生(現在、名古屋大学にある文部省核融合科学研究所勤務)を講師にお招きして、国際交流―私の経験から―国際社会でのおつきあいのしかたと題してお話しいただきました。また二十二日(開場文化センター講義室)には、アジアを学ぶ「今日の韓国事情」をテーマに、先頃韓国・英陽(ヨンヤン)郡を訪問した協会員の報告会と、現在岐阜大学に留学中の張さん、李さん、裴さんをお招きして、現在の韓国事情(若者文化、教育、生活環境等)についてお話しいただきました。



国際交流がより身近になった今日において、今回の学習は大変参考になりました。得るものがたくさんありました。今回は森山先生の話の概略



を紹介させていただきました。岐阜大学では世界の約十三の大学と交流があり、現在すでに二百数十人をこす学生が学んでいる、国際交流では東海北陸の屈指の大学です。留学生を理解するには構えずに、ありのままの生活をするのが大切です。体験から話しますと、豪華な着物を買い与えたり、京都などに旅行に連れていく家庭がありますが、長続きしません。自然な振る舞いで食事をともにしてほしいと考えます。外国人だから日本語を知らないと思うのは間違いで、知らないと思って日本語で話す結構通じており、誤解を招かない会話が大切です。国際交流という世界という話ですが、自分の足元をみつめない現実ではできない話で、自分の足元↓地域の↓日本↓世界と広がっていきます。そういうことで、国際交流はまず自分の足元から、自

分自身を見つめ直すと言う考えでいく必要あると思います。

岐阜大学サマースクールに  
ホムステイ(郡上八幡)

参加している留学生が、課外授業の一つとして七月十八日から二十二日まで来幡します。このスクールは六月四日から八週岐阜大学で日本語クラスを受講し、その期間中に、八幡町において茶道・草木染体験・酒蔵見学等の後町内にホームステイする予定です。今回はスエーデンから七人韓国から五人アメリカから一人の計十三です。八幡での滞在日数は少ないですが、町ですれちがったときなど気楽に声をかけてあげて下さい。きっと笑顔で応えてくれると思います。

### 世界で活躍中の音楽家たちによる 第7回 ブラスの里～郡上八幡

(第15回奥長良国際音楽村)

すっかり夏の恒例行事となったブラス講習会、ブラスの里～郡上八幡が、今年も7月21日～24日までの日程で、郡上八幡総合文化センターを会場に開催されます。

この講習会は今年で7回目を迎えますが、独自の指導法で知られるドイツ出身のブラス演奏者を中心として当地に招き、ブラス愛好家、指導者が一緒になって合宿し、行われるものです。

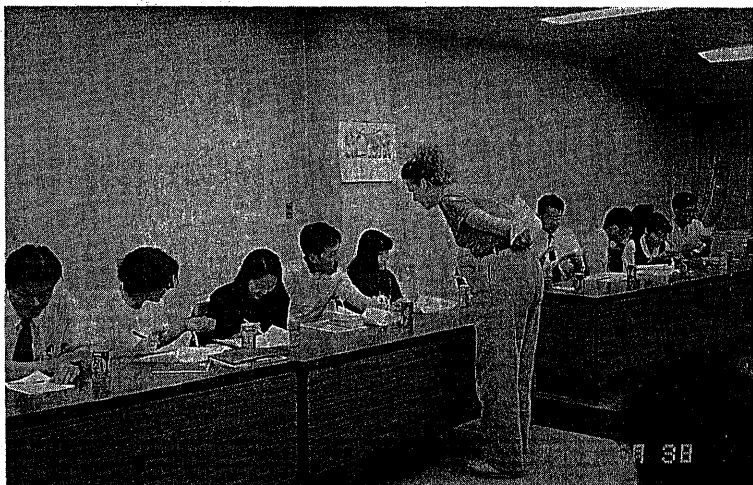
また、この講習会に先立ちオープニングコンサートとして、室内楽の夕べ、がまた、講習期間中に講師と受講生によりジョイントファミリーコンサートも開催される予定です。郡上の地において世界一流の音楽が楽しめるこの機会をお見逃しなく。

室内楽の夕べ 7月20日(土) 午後7時より  
ジョイントファミリーコンサート  
7月23日(火) 午後7時より  
いずれも郡上八幡総合文化センター大ホール・有料

詳しくは郡上八幡音楽を楽しむ会  
坂本代表 (05756-5-2513) 迄お問い合わせ下さい。

## 大好評 英会話教室

当協会が主催・募集し、八幡英会話サークルのご協力を得て五月二十七日～六月二十四日の毎週月曜日の夜、休養村センターにて英会話教室が行われました。講師は、町内で英語指導助手として活躍しているリードシンスンさん、アンバー・ジョンソンさんが担当し、今年「旅行に役立つ英会話」をテーマに迷い子になったら、ホテルのフロントで、レストランにてそれぞれ具体的な場面を想定して五回の講座が開かれました。年々受講生も増え、今年度は三十四名が受講しましたが、ナマの英会話にとまどいをみせながらも充実した時間を過ごされていたようです。この講座は来年度も計画されています。



### 友好協会から お願いとお知らせ

当協会では、昨年までの夏期日本語講座に参加された学生たちの追跡調査を行っています。あの学生今、どこにいます。あの学生今、どこにいます。よ、等情報等ありましたら是非協会事務局(役場企画課内) ☎05756-171122)までご連絡下さい。皆様方から寄せられた情報はまとめて今後の交流に役立てていきたいと思っております。

また多国籍料理の夕べと題して各国料理を味わう会も企画しています。日本在住の外国人を料理講師に、皆さんに参加していただきます。今のところ、中国料理の夕べを計画中です。詳細は決定次第、ふれんどしっぷ紙面、広報などを通じてご案内致します。乞うご期待。